

ニュースリリース

IPTV 及び CATV の 4K/8K 放送に関する必須特許募集

2017年4月3日

アルダージ株式会社

パテントプールライセンスを管理するアルダージ株式会社は、本日、IPTV 及び CATV の 4K/8K 放送の標準規格に関する必須特許の募集を行うことを発表しました。

現在、アルダージ株式会社は、関連する特許を一括して許諾する、いわゆるパテントプール方式によって、現行のデジタルテレビジョン放送の標準規格に関する 600 件を越す必須特許を許諾しております。これにより受信機の製造販売および放送サービスを行うための特許問題を解決し、アナログ放送からデジタル放送への完全移行に伴うデジタルテレビジョン放送システムの普及促進に大いに貢献してまいりました。

さらに、2014年8月25日には衛星放送による 4K/8K 放送の標準規格に関する必須特許の募集を行い、現在そのライセンス準備を進めております。

今回の募集は、衛星放送に続いて IPTV 及び CATV にも 4K/8K 放送のライセンス範囲を拡大し、伝達メディアに限定されることなく多数の特許権者が所有する必須特許を一括で公平にかつ合理的な条件でライセンスする仕組みを作ることにより、4K/8K 放送の普及を促進することを目的としています。

標準規格に必須であるかどうかの判定は、中立的な専門家である日本知的財産仲裁センター（JIPAC）が行います。

別紙に記載の、一般社団法人 IPTV フォーラムが策定する標準規格、および、一般社団法人日本ケーブルラボが策定する標準規格に規定された機能および効用の実現

に必須と思われる日本特許を保有し、必須判定を希望する方は、2017年6月30日までに JIPAC に申し立ててください。必須判定申立の手続きに関する詳細は、JIPAC (<http://www.ip-adr.gr.jp>) またはアルダージ株式会社 (<http://www.uldage.com>) のウェブサイトをご参照ください。

アルダージ株式会社の概要

アルダージ株式会社は、デジタル時代の錯綜した特許問題を関係者が協力して解決し、これにより健全な競争を促進するために、2006年7月に設立されました。

複数の特許権者が所有する必須特許を一括して許諾し（パテントプール）、特許権者と事業者双方の利便性を追求する事業を展開しております。

所在地	東京都千代田区内幸町 1-1-1	インペリアルタワー内
電話	03-3500-1572	FAX 03-3500-1573
代表取締役社長	中村 嘉秀	
資本金	6,000 万円	
株主	株式会社 JVC ケンウッド (14.29%)	
	シャープ株式会社 (14.29%)	
	ソニー株式会社 (14.29%)	
	株式会社東芝 (14.29%)	
	パナソニック株式会社 (14.29%)	
	日立マクセル株式会社 (14.29%)	
	三菱電機株式会社 (14.29%)	

IPTV 対象規格一覧表

番号	規格名称	備考
IPTVFJ STD-0001	概説	
IPTVFJ STD-0002	VOD 仕様	
IPTVFJ STD-0003	ダウンロード仕様	
IPTVFJ STD-0004	IP 放送仕様	
IPTVFJ STD-0005	地上デジタルテレビジョン放送 IP 再送信運用規定	
IPTVFJ STD-0006	CDN スコープ サービスアプローチ仕様	
IPTVFJ STD-0007	インターネットスコープ サービスアプローチ仕様	
IPTVFJ STD-0008	放送連携サービスアプローチ仕様	
IPTVFJ STD-0009	BS デジタル放送 IP 再送信運用規定	
IPTVFJ STD-0010	放送通信連携システム仕様	
IPTVFJ STD-0011	HTML5 ブラウザ仕様	
IPTVFJ STD-0012	事業者間連携メタデータ運用規定	
IPTVFJ STD-0013	ハイブリッドキャスト運用規定	
IPTVFJ DOC-0002	Hybridcast 技術仕様サービスガイドライン	

UHDTV ケーブル対象規格一覧表

番号	規格名称	備考
Jlabs SPEC-017	デジタル放送 高度リマックス運用仕様 (自主放送)	
Jlabs SPEC-018	デジタル放送 高度リマックス運用仕様 (i-HITS)	
Jlabs SPEC-019	デジタル放送 高度 JC-HITS トランスモジュレーション運用仕様	
Jlabs SPEC-028	IP 放送運用仕様 (自主放送)	
Jlabs SPEC-030	IP-VOD サービス運用仕様	